

NPO法人 共に歩む市民の会

会 報

共に歩む市民の会広報委員会

通巻 第24号

☎ 241-0022

横浜市旭区鶴ヶ峰 2-1-16

☎ 045-953-6727

2008年12月31日 発行



無私の精神を紡ぎあう方たち

横浜市市民活力推進局人権課 村岡 福藏

旭福祉保健センター・サービス課で過ごした2004年4月から2008年3月までの4年間は、僕の中で忘れないものになっています。一緒に仕事をした職員のひたむきさとともに、とりわけ「ほっとぽっと」をめぐる様々な方との出会いに、多くのことを学んだという思いがひとしおです。

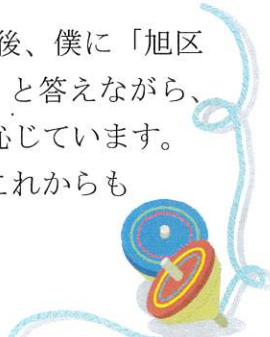
志を持った方たちが始めた小さな「たまり場」から、生活支援センターB型として横浜市が事業化する第1号となる「ほっとぽっと」を誕生させ、そこでの多様な取り組みまで、一貫して「当事者主体」の姿勢が貫かれていること、そして何より、そういう思いを紡ぎあう方たちがたくさんおられる地域の素晴らしいふれたことが自分の中の財産になっています。お一人お一人のお名前を挙げたいのですが、それだけで紙面が尽きてしまうのが残念です。

開所に向け、2004年秋、川田剛さんや高野静子さんと地域の方々へのご説明に回ったとき、どなたもが快く理解され、「お役に立てることがあれば言ってください」とおっしゃってくださったことは、大変ありがたい思いがしました。鶴ヶ峰連合自治会の増田清一会長はじめ変わらぬご協力で、旭区区民祭りでの我が「ほっとぽっと」の活躍ぶりはご存知の通りです。

開所後は、様々な取り組みが貪欲に始められました。中でも、長期入院者を地域へ帰すための宿泊支援では、田山裕文さんなどピアの方たちの細やかな心遣いを感じました。また、そうした会議の場にいつも駆けつけてくれる田中梨奈さんなど神奈川病院の存在は地域精神保健を実践される医療機関として、本当に心強い存在でした。佐伯彰院長の「ほっとぽっと」でのお話を聞きできなかったことが心残りです。

一年前に急逝された太田三郎さん（あけぼの会会長：当時）が、会合の後、僕に「旭区をべてるの街にしたいんだ」と言われたことがあります。「いいですね」と答えながら、内心では夢物語のように思う自分がいました。今は、そう思った自分を恥じています。

「ほっとぽっと」で出会った方々が紡ぎ続ける営みに、ささやかですがこれからも応援し続けて行きたいと思っています。



『第19回 旭ふれあい区民まつり』

10月28日に開催された『第19回旭区民ふれあいまつり』に、今年も「市民の会」は『自治会・町内会&ほっとぽっとコーナー』として参加しました。前年に上回る大盛況でしたが、その様子を4人の方にうかがいました。



歩行者優先

本間 寛史

「区民まつりの当日は、ドラえもんの着ぐるみを着てみたら？」
そんな冗談混じりの周りの声に本気で応えようと思った程、気合い“だけ”は入っていました。

昨年は、とある方から『別館ギャラリーのお手伝い』という形で誘われただけで、それが『区民まつり』の中の一イベントである事も、今、一体何が起こっているのかも、何故僕にお弁当が用意されていたのかも解らない中で空回りしていたので、今年は区民まつりの会議の段階から関わらせて頂ける事への喜びをひしひしと感じていました。

会議を終えて家路につくと、時計の針は22時を廻っている…。それさえ、「働いている実感だ、嬉しい」と感じ、当事者活動をさせて頂けている今の環境への感謝の念が湧き、同じ方向へ歩いているスーツ姿の皆様に心の中で「お疲れ様です」と声を掛けました。

会議で「ボランティアを識別する為のリボンを作ろう」という声が上がり、「ピア同士の結束力を高めたい」という気持ちから、勝手にスタッフバッジなんてもも作ってしまう始末。

それほど気合い“だけ”はあった訳ですから、当然、それなりのプレッシャーものしかつてきました。前日の夜は全く寝付けず、不眠時の頓服を…不安時の頓服を…それでも駄目でまた不眠時の頓服を…と。もし、こんな事を主治医に話したら叱られますね、う~ん…。

区民まつり当日は早起きをして、残りの作業を自宅で大急ぎで済ませ、会場でも当事者にとって禁忌とされる【焦る頑張る】をやってしまい、疲労を誤魔化す為に栄養ドリンクを飲み、更に【焦る頑張る】…さすがに限界が。

ガス抜きをする為にまつりの模様を見て回り、色々と買い物をして楽しみ、人との温かい交流を取る事でエネルギーを充填。最後まで突っ走ろうと思えた大きな要因です。

達成感からか、迂闊にもほんの少しだけ自分を褒めてしまい、ほっとぽっとでの打ち上げでは“調子に乗ってハメを外す”失態を。それだけ今回は楽しかったのでしょう、その後、気持ちが冷めない内にほっとぽつのブログを更新して、思い出に刻み込みました。

翌日、21:30まで起き上がる事さえままならなかったのは、仲間内では有名な話です。





旭ふれあい区民まつり

栗原 誠

朝方雨が降っていたのに、お店を開くときには雨が上がってよかったです。

それに、ある人に「うちの子の犬の形作ってくれないかな」と言わされたので、次回の参考になりました。次回何を作ろうか、今から考え中です。また、バザーで何が売れるか楽しみです。

区民まつりを終えて

ほっとぽっと 岡田 美佐

曇天の中での開催でしたが、「第19回旭区民まつり」も無事終わり、ほっとしている所です。

今年も「共に歩む市民の会」が一丸となり、「自治会・町内会&ほっとぽっとコーナー」として参加させていただく事ができました。

今年は参加団体も増え、またコンサートを外で行うという初の試みにも挑戦してみるなど、昨年とはまた違った雰囲気を感じることができました。来場されたみなさんにも「ほっと」できる空気を味わっていただけたのではないかでしょうか?

まだまだ「共に歩む市民の会」で取り組んで行く上での課題もありますが、地域の方々にほっとぽっとをさらに知っていただききっかけのひとつとして、今後も楽しく区民まつりに参加することができればいいなあと思っています。



2008年旭区民祭り ケアリングクラウン奮戦記

葦の会 会員 村木 雄一

私たちケアリングクラウン関東支部に活動の場を提供していただき感謝しております。

私は日本ケアリングクラウン研究所が主催するケアリングクラウン養成講座やワークショップで勉強しています。ケアリングクラウンではパッチアダムスが代表格です。ケアリングクラウンはパフォーマンスを見せる大道芸のピエロではなく、子どもの病院や高齢施設、アフガニスタンなどの紛争地域にも行きます。パフォーマーではなく、相手の「心への働きかけ」をします。子どもの病院では、患者ではなく子どもに戻ることを働きかけるといわれます。施設での活動は、面白いことをする必要はなく、一緒にいること・静かに共に存在することが大切とも言われます。難しいことも多く、だから勉強をしているのですが……。

修行中の私にとっては、区民祭りの中でクラウンの格好をして、人と関わりながら遊ぶことが、勉強でした。今回参加したほかの6人のクラウンもとても気にいってくれました。来年もぜひ参加させていただきたいと思います。





ボランティアさん



『共に歩む市民の会』のボランティアの日頃の思いをつづるリレートーク。

前回の語らい電話のMさんからバトンを手渡されたのは・・・

第8回は語らい電話のKさんです。

子供も独立し母親の役割も終わり、これからは残された老後を自分自身主体的に生き、少しでも社会に貢献して悔いのない人生を送りたいと、関わりだしたのがこのボランティアでした。今は人間関係にかかわり、つながりの段階ですが、電話から伝わる声のトーンが、高かったり低かったり、明るかったり沈んでいたりから、心の機微を見極めて話を聞く難しさはありますが、人は誰でも話を聞くより話したい・聴いてほしいものですから、緊張しながらも心を真っ白にして相手の方と向き合っています。

ボランティアを通して視野も広がり、感情のコントロールも上手になり、自身の成長のためだったのだと気付かされました。ボランティア有り難う。今の世の中は勇気欠乏症に陥っているように思えます。そんな人に勇気を与えられたら、を目標に仲間の皆さんと携わって行きたいと思います。

語らい電話 K

会員紹介



今年で9年目を迎えた『共に歩む市民の会』ですが、現在約100名の方々がこの会の活動に賛同し、会員となってくださっています。そんな会員の皆様の素顔をちょっとずつご紹介していきたいと思います♪

第7回目は、今年度の理事に新任されました、“あけぼの会”的長谷川京子さんです。

No.11 長谷川 京子さん



私は、娘の病気から旭区の家族会「あけぼの会」に入会し、お互いの悩みや苦しみを話し合い、病気についての勉強会等のお手伝いをさせていただいております。そして今年、会を代表して「共に歩む市民の会」の理事になりました。自分の家族だけから区役所、家族会、ほっとぽっと、デイケアと行動範囲も広がり、友達も沢山できました。

それにしても多くの人達が、心の病の人の為にがんばってくれて「共に歩む市民の会」ができたことを知り、感謝です。

今年2月の精神保健福祉セミナー、9月の精神保健福祉フォーラム、ふれあい区民祭等、お手伝いでき楽しかったし、当事者や仲間から元気をもらいました。

「心の病をもっても暮らしやすい社会がみんなに生きやすい社会」精神科医の越智先生の言葉ですが、私も本当にそう思います。その日が来るようになんばりましょう。





～事務局ニュース～

★理事会報告

(第20回) 11月13日(木) 19:00~

〈出席理事〉9名 (欠席2)

〈審議事項〉

☆上半期報告及び下半期計画について

→パンフレットの増刷、第10回セミナー、講師派遣等

☆新規職員採用について→産・育休代替職員

(常勤)1名、自立支援員(非常勤)1名を採用。

☆就業規則・給与規定の改定について→育児介護休業、宿泊支援担当に関する規定等 他

～次回理事会は2月19日(木)夜に開催予定

◇◆◇◆◇◆【新規入会(8/16~12/15)】◇◆◇◆◇◆ なし

市民の会・ほっとぽっと スケジュール'09.1月～

どうぞ お気軽にご参加ください

『市民の会幹事会』 “この人を知るシリーズ” 続行中

11月は河野正明先生(葦の会理事長)が「統合失調症の発症を防ぐ」というテーマでお話し下さいました。最近の研究の紹介など初めて耳にする内容ばかり。参加者からは次々と質問が出ていました。

◇1月 28日(水) 18時半～ ほっとぽっと2階

話題提供=あけぼの会 長谷川 京子さん

◇3月 4日(水) 18時半～ ほっとぽっと2階

話題提供=語らい電話ボランティア 小林 幸さん



『第4回 ふれあい月の市』

◇1月31日(土) 11時～15時 ほっとぽっと別館(十庭) 雨天実施

手作り小物、衣類、野菜、パン、本、リサイクル品・・・

掘り出し物いっぱい☆喫茶コーナーあり

『第10回 旭区精神保健福祉セミナー』 旭区・市民の会 共催

当事者が声を出そうと2000年に始まったセミナーがついに10年目を迎えました！

◇2月26日(木) 10:30～15:00 旭公会堂(区役所4階)にて

テーマ：私たちがここに居る — 伝えたい！未来に向けた私たちの思い —

内 容：**午前**☆私のメッセージ(体験を通した思い、主張、うた 等)

・・・募集要領(別紙)をごらんください...

☆講演 やどかりの里(さいたま市)メンバー 堀 澄清さん



午後☆シンポジウム「精神保健福祉セミナーの10年」

過去のセミナー発表者を中心に語り合います。

終了後、鎧橋自治会館にて交流会を予定

「70歳を目前にして今、新たな一步を」(やどかりパンフレット)著者



マーク入り Tシャツ 販売中！ お早めにどうぞ

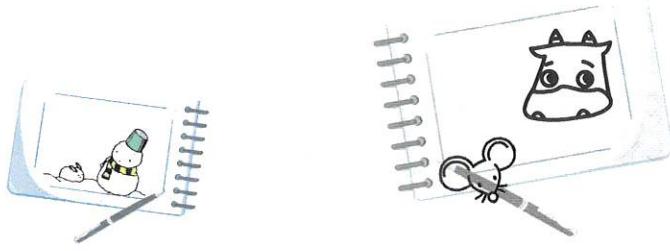


カラー5色あり：赤・紺・水色・緑・オリーブ／サイズ：L・LL
しっかりした生地です。

1500円で ほっとぽっとにて販売中。

市民の会の収益となりますので、ぜひよろしくお願いします。

編 集 後 記



✿今年は続いておきた秋葉原での無差別殺傷事件や元厚生次官殺害事件に、私は恐怖に震えてしまった。孤立し絶望の果てになせる業なのでしょうか。人と人。人と社会が繋がって「共に歩く年」にしたいものですね。・・・松元

*心臓移植を待っていた赤ちゃんが亡くなった記事を読みました。ずっと気になっていた子だったので、親の思いや制度の壁など色々考えさせられました。・・・森

✿1月新年、モウ目の前。2月セミナー開催、モウ10年！ 3月？自立支援法の見直し、応益負担モーたくさん。4月花見がモウ楽しみ。・・・川田

✿毎年恒例の年末大反省会（最近はもっぱらあきらめ&開き直りの境地ですが）の時期がやってきました。いくつになっても夢だけは持ち続けたいですね。・・・松迫

✿11月、石垣島にダイビングに行きました。11月だというのに気温より高い真夏の水温！ありがたい反面、目の当たりにした地球温暖化にショックを受けました。宿題の残るダイビングでした。（でもマンタに逢えました♪）・・・高木

どうぞよき新年をおすごしください

